

(中国乙24)
梅毒 発生推移
=2026年1月度=

発表: 2026年2月9日 国家NDPCA

作成: 2026年2月16日
日中医療衛生情報研究所

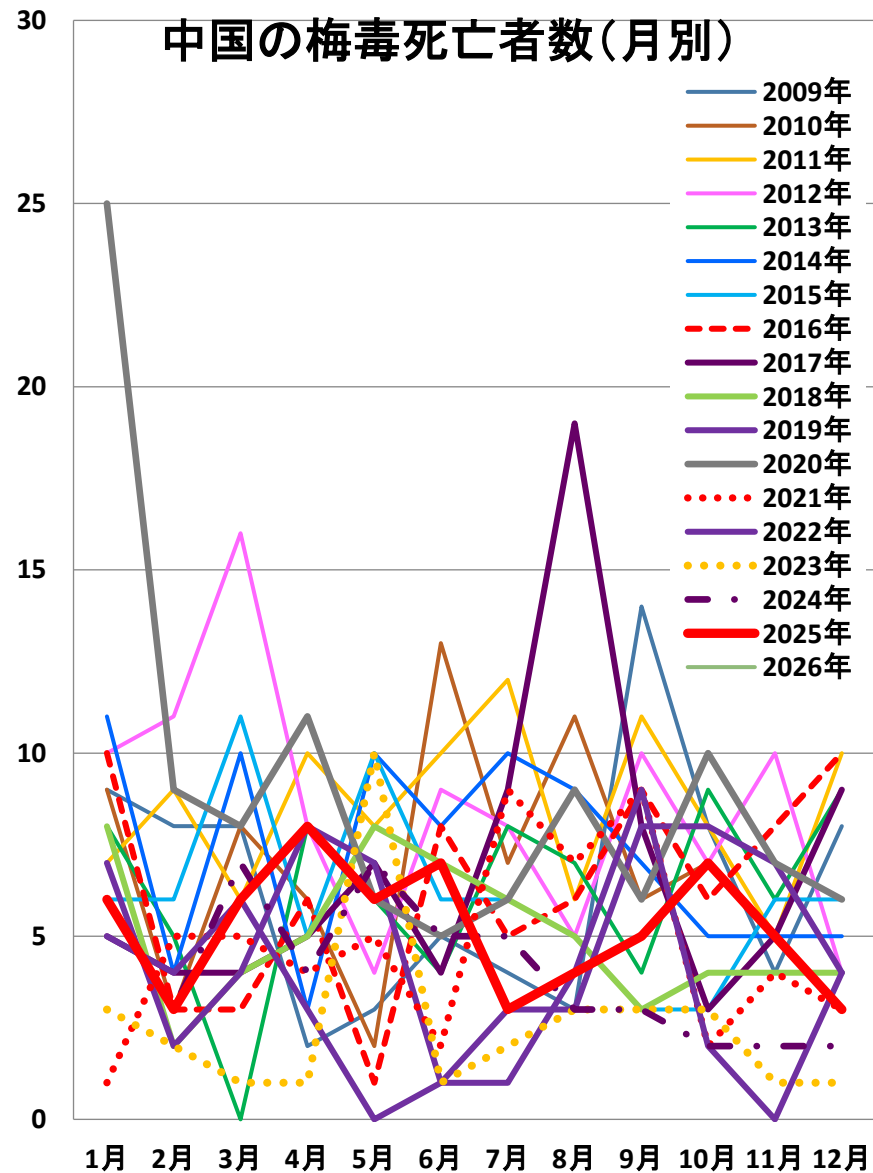
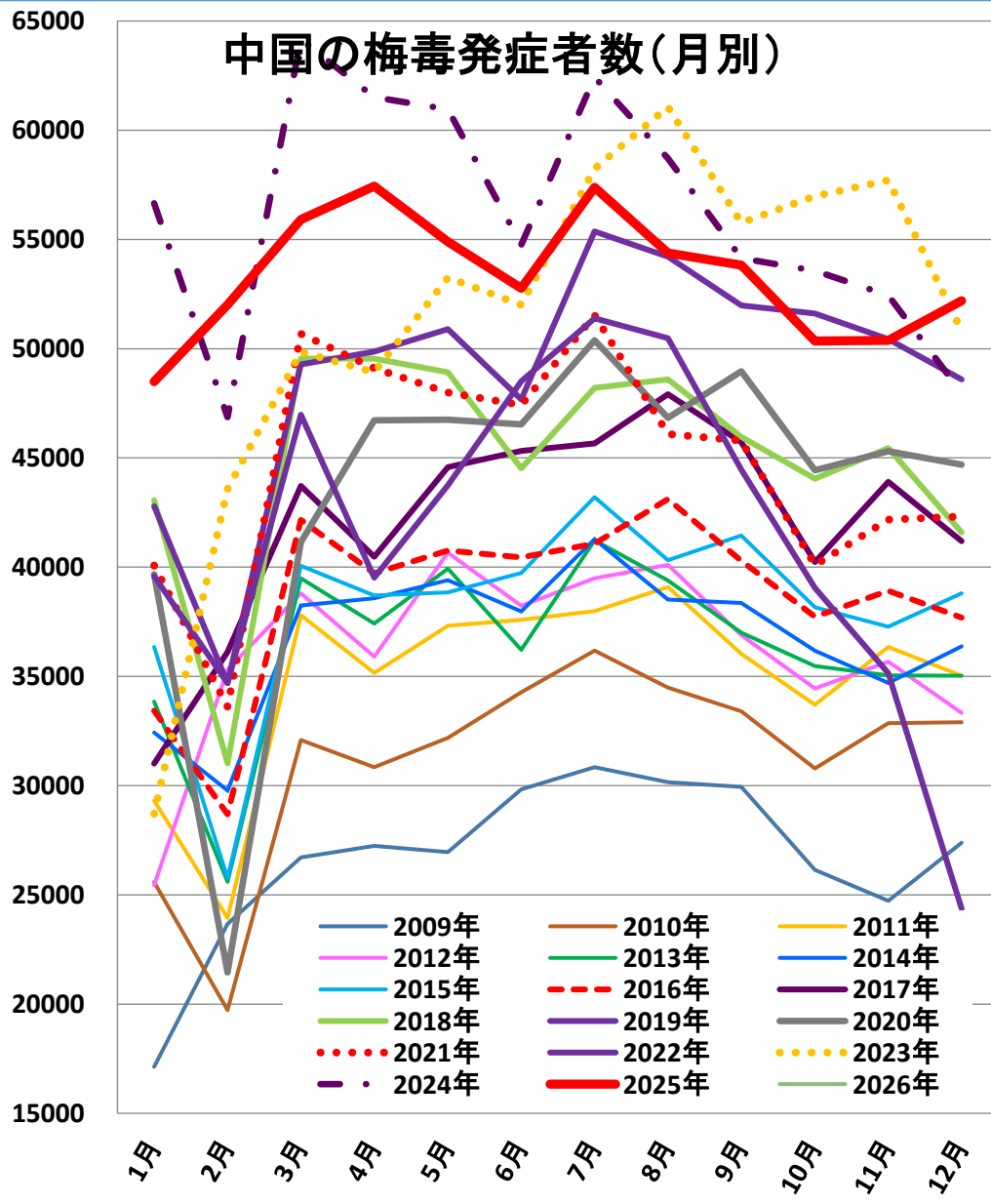
梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、(淋病は2018年度減少に転じた?)
- 中国の梅毒の特徴は、
 1. 毎年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
 2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場に増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
 3. 2015年は、433,974例となったが、

2016年438,199例、	2017年475,860例、
2018年494,867例、	2019年535,819例に。

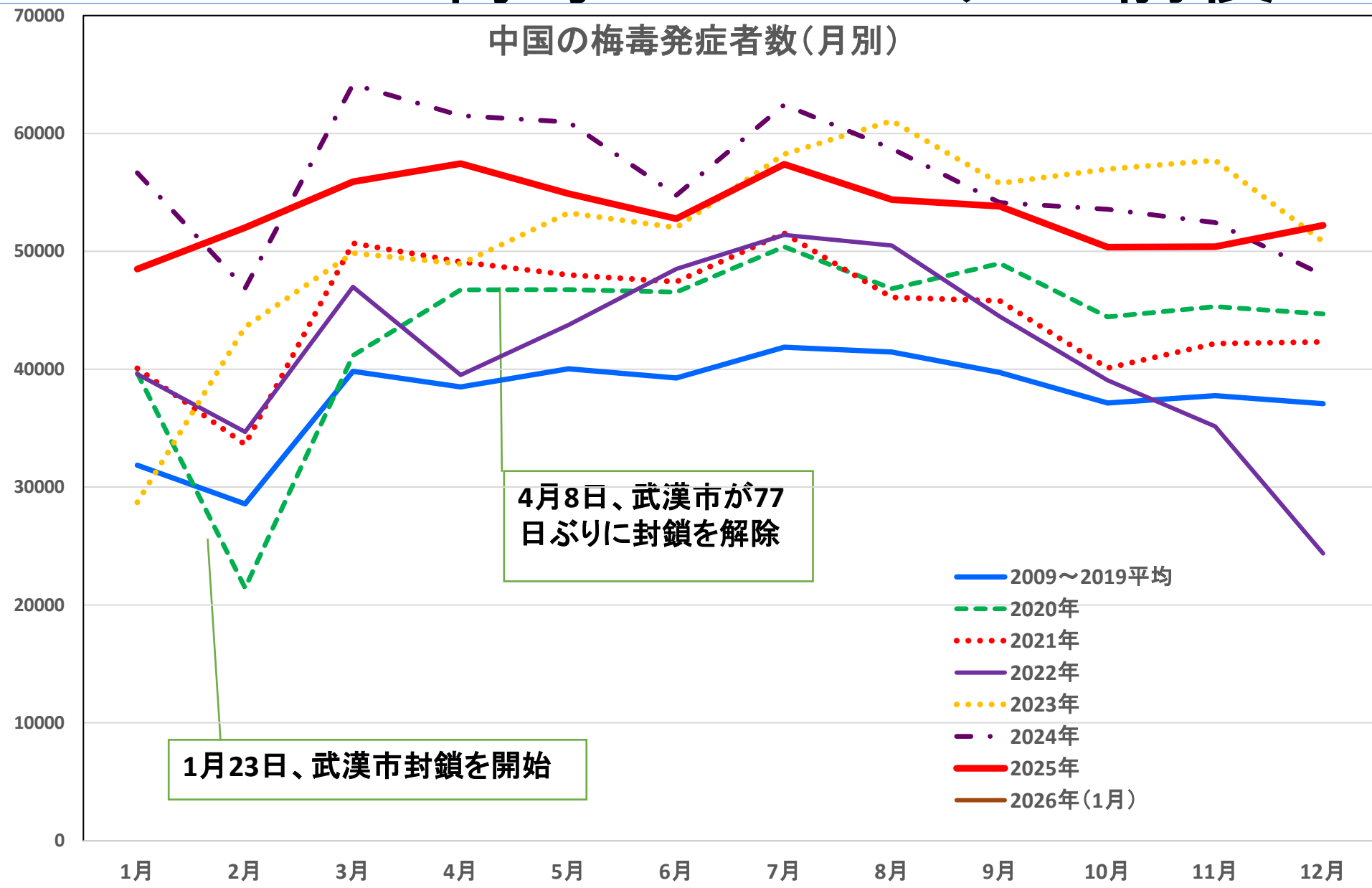
2019年5月から連続9か月続いた過去最悪の状況は2020年1月以後激減、コロナの影響？
2020年は464,435例と減ったが、死者は増えている。
2021年480,020例、2022年441,159例、
2023年530,116例、**2024年は572,092例(確報)。**
2025年530,116例(累計ベース)、中国4大STD時代の復活か。

乙24：梅毒

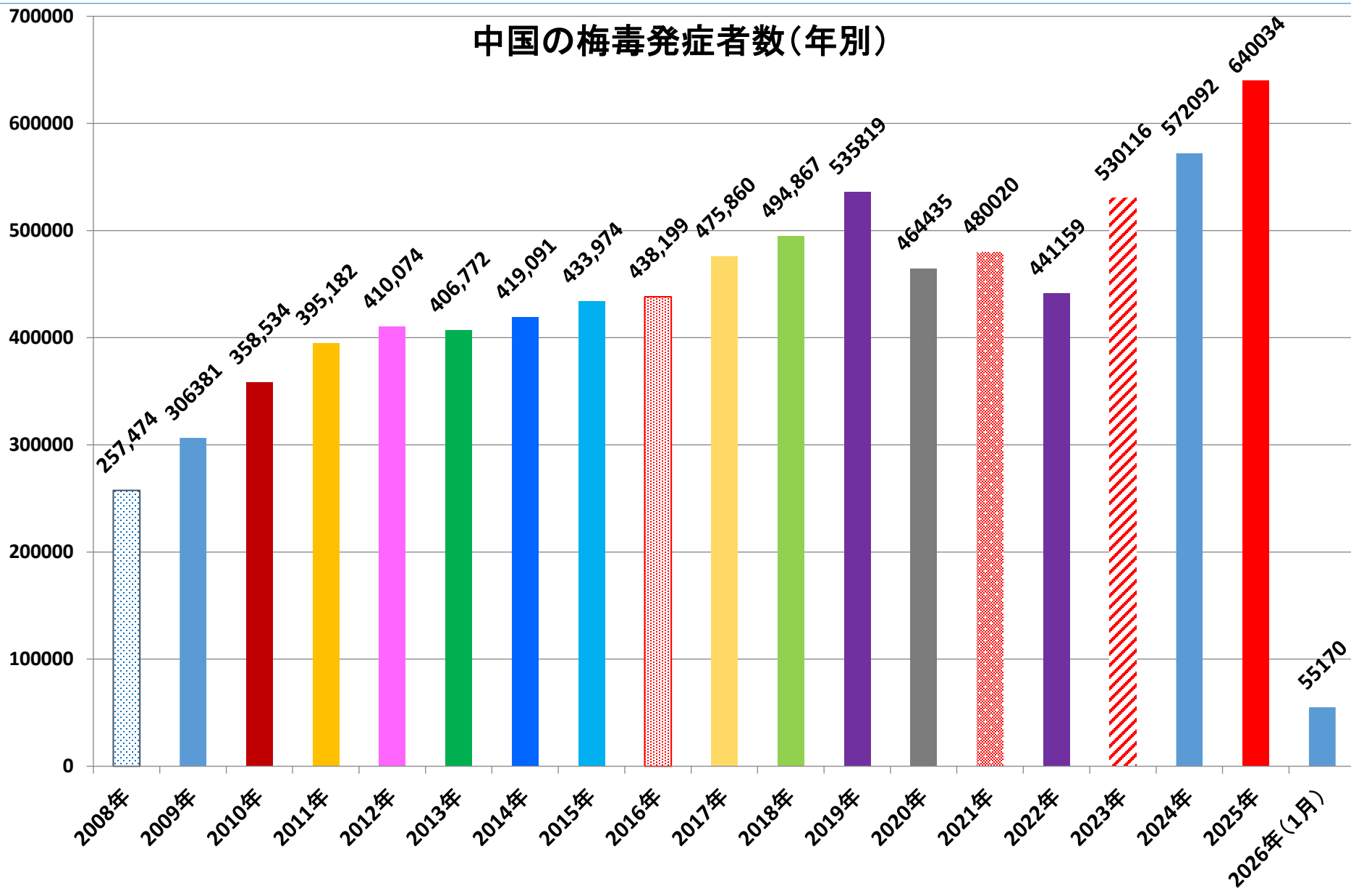


乙24 : 梅毒 : コロナの前後

中国の梅毒発症者数(月別)



乙24：梅毒



乙24：梅毒

中国の梅毒死亡者数(年別)

